

注3

大学番号：私短013

[平成26年度設置]

計画の区分：学科の設置

注1

届出

名古屋経営短期大学 未来キャリア学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人菊武学園

平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ホンフシムキョクソウムカチョウ
本部事務局総務課長
カタオカ タカシ
片岡 隆

電話番号 0561-55-3020

F A X 0561-55-3021

e-mail kikutake@tcp-ip.or.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

＜未来キャリア学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
(1) 設置者	
(2) 大学名	
(3) 大学の位置	
(4) 管理運営組織	
(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	
2. 授業科目の概要	5
(1) 授業科目表	
(2) 授業科目数	
(3) 未開講科目	
(4) 廃止科目	
(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	
(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
(1) 担当教員表	
(2) 専任教員数	
(3) 専任教員辞任等の理由	
(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	
6. 留意事項等に対する履行状況等	15
7. その他全般的事項	18
(1) 設置計画変更事項等	
(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）	
(3) 自己点検・評価等に関する事項	
(4) 情報公表に関する事項	

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 菊武学園

(2) 大学名

名古屋経営短期大学

(3) 大学の位置

〒488-8711
愛知県尾張旭市新居町山の田3255番地5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ ヒロエ) 高木 弘恵 (平成21年4月)		
学長	(タカギ ヒロエ) 高木 弘恵 (平成25年4月)		
学科長	(ヤマモト ヨシノリ) 山本 芳功 (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
未来キャリア学科 短期大学士 (未来キャリア)	2年	100人	— 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	100 (-) [-]	(-) [-]	100 (-) [-]	(-) [-]	0.4 倍	— 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	41 (-) [5]	(-) [-]	47 (-) [-]	(-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	41 (-) [5]	(-) [-]	47 (-) [-]	(-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	41 (-) [5]	(-) [-]	47 (-) [-]	(-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	36 (-) [2]	(-) [-]	44 (-) [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A					0.36		0.44				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					[2] (-) 36	[-] (-) -	[0] (-) 44	[-] (-) -	平成27年度に子ども学科から未来キャリア学科2年次へ1人が転学科。
2年次							[2] (-) 37	[-] (-) -	
3年次									
4年次									
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[2] (-) 36	[] ()	[2] (-) 81	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	— 人	— 人	平成24年度	人	人		— %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	— 人	— 人	平成25年度	人	人		— %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	36 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	44 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	80 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<未来キャリア学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	経済学入門	1前	2			4		1				専任教員の採用により、担当教員を変更(26)	
	ライフプランニング(菊武基礎)	1前	2			2		4				講義内容の充実を図るため、担当教員数を変更(26)	
	日本の経済と世界の経済	1後	2			3	1					内容に応じて外部講師の招聘を行う。	
			2前										兼1
			1前										
	暮らしと経済	2前	2			1							兼1
		1後											
	人間関係とコミュニケーション	1前		2									兼1
		2前											
	高齢者福祉論	1前		2									兼1
		2前											
		1後											兼1
		2後											
	心理学総論	1前		2									兼1
		2前											
	日本語表現	1前		1			1						兼1
		2前											
	ビジネス文書	2後		1			1				1		兼1
	労働と法	2前		2									
		2後											兼1
		2前											
	政治と経済	1後		2			1						兼1
		2前											
	企業と情報	2後		2							1		兼1
	企業と会計	2前		2			1						
	マネジメント概論	1前		2			1				1		兼1
		2前											
	マーケティング論	1後		2			1				1		兼1
		2後											
		未開講											兼1
		1前											
	ロジカルシンキング	2前		2							4		兼1
ビジネスイングリッシュ	2前		1							1			
ビジネス情報	1前		2							1		兼1	
	1後												
話し方演習	1前		1									兼1	
ビジネスマナー基礎 I	1前		1			1				1			
ビジネスマナー基礎 II	1後		1							1		兼1	
	1後												
プレゼンテーション技法	2前		2			1				1		兼1	
	2前												
プレゼンテーション演習	2後		1			1				1		兼1	
簿記入門 I	1前		1			1				1			
簿記入門 II	1後		1			1				1		兼1	
	1前												
実践キャリア教育 I	1後		2			1				1		兼1	
	1後												
実践キャリア教育 II	2前		1			1				1		兼1	
	2前												
実践キャリア教育 III	2後		1			1				1		兼1	
	2後												
インターンシップ I	1前		1			1				1		兼1	
	1前												
インターンシップ II	1後		2			1				1		兼1	
	2前												
	1前											兼1	
	2前												
キャリアアップ I	2後		1			1				1		兼1	
	1後												
キャリアアップ II	2後		1			1				1		兼1	
	1後												
	1前											兼1	
	2前												
海外研修	2前		2							1		専任教員の採用により、担当教員を変更(26)	

総合教育科目	介護職員初任者研修講座Ⅰ	2前	3					兼6	
	介護職員初任者研修講座Ⅱ	2後	3					兼6	
	営業検定講座	2前	2					兼1	
		1後				+		講義内容の充実を図るため、担当教員を変更(27) 講義内容の充実を図るため、担当教員及び配当時期を変更(27) 履修希望者がいなかったため(26)	
		未開講							
	4前	1			+		兼+		
	販売士検定講座	1前	1					兼+	
	秘書検定講座Ⅰ	1後	1						
	秘書検定講座Ⅱ	1前	1					兼1	
簿記検定講座Ⅰ	1後	1					兼1		
簿記検定講座Ⅱ	1後	1					兼1		
専門教育科目	栄養学演習	1後						兼1 時間割編成上の都合により、配当時期を変更(26) 時間割編成上の都合により、配当時期を変更(27)	
		1前	1						
		1後							
		4後							
	生涯スポーツ	1前	1				+	1	担当教員の退職と専任教員の採用により、教員及び配当時期を変更(26) 時間割編成上の都合により、配当時期を変更(27)
		2後							
	パーソナルトレーナー資格講座	2前	1				+	1	担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26) 担当教員の退職と専任教員の採用により、配当時期を変更(26)
		1後							
	健康と運動の科学	2後	2				+	1	担当教員の退職と専任教員の採用により、教員及び配当年度を変更(26) 担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26)
		1前	2					1	
	医療事務Ⅰ	1後	2					1	担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26)
	医療事務Ⅱ	2前	2				1		
	医療事務Ⅲ	1後	2					1	
	医療秘書	2前	2					1	
	人体の構造と機能及び疾病	1前	2				+	1	担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26) 講義内容の充実を図るため、配当時期を変更(27)
		1後							
	医療事務演習Ⅰ	1前	1					1	担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26) 講義内容の充実を図るため、配当年度を変更(27)
		2前							
	医療事務演習Ⅱ	1後	1					1	担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26) 担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26)
	医事コンピュータ演習	2前	1					1	
	調剤事務	1前							講義内容の充実を図るため、配当年度を変更(27) 担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26)
		2前	2					1	
	電子カルテ演習	2後							講義内容の充実を図るため、配当時期を変更(27) 担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26)
		2前	1					1	
	メディカル総合演習	2前							講義内容の充実を図るため、配当時期を変更(27) 担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26)
		2後	1					1	
	医療教養	2後							探査の運営上の都合により、担当教員を変更(27) 担当教員の退職と専任教員の採用により、教員及び配当年度を変更(26)
		4後	2					+	
	ファッションコーディネート	1前							時間割編成上の都合により、配当年度を変更(27) 時間割編成上の都合により、配当年度を変更(26)
		2前	2						
	カラーコーディネータ検定講座Ⅰ	1後							兼1 講義内容の充実を図るため、配当時期を変更(27) 時間割編成上の都合により、配当時期を変更(26)
		1前	1						
	カラーコーディネータ検定講座Ⅱ	1後							兼1 講義内容の充実を図るため、配当年度を変更(27) 時間割編成上の都合により、配当年度を変更(26)
		2前	1						
	ネイル・エステティック&ブライダル	1後	1						兼1 探査の運営上の都合により、担当教員数及び配当時期を変更(26)
		1前	1						
	おもてなし演習	2前							兼3 時間割編成上の都合により、配当時期を変更(27)
		2後	2				1		
	アロマセラピー	2前							兼1 担当教員の都合により、配当年度を変更(26)
		1前	1						
ウォーキング・ポーズ&ダンス	2前							兼1 担当教員の都合により、配当年度を変更(27)	
	1後	1							
美容法	1前	1						兼1 担当教員の都合により、配当年度を変更(26) 講義内容の充実を図るため、担当教員及び配当時期を変更(27)	
	2後						1		
ダイエット検定講座	2前							兼+	
	1後	1							
情報処理	1前	1						兼+	
	1後					+			
情報倫理	1前	2						兼1 担当教員の退職により、教員及び配当時期を変更(26)	
	1後	2					1		
情報科学入門	2前							兼1 担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26)	
	1後	2					1		
デジタル映像制作入門	1前	1						兼+	
	2後					+	1		
表計算演習	1前							兼+	
	2後	1					1		
プログラミング演習	2前							兼+	
	2後	1					1		

専 門 教 育 科 目	データベース演習	2前 2後 1後 1前	1			1			時間割編成上の都合により、配当時期を変更(27) 担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26)
	SNSネットコミュニケーション演習	2前 1前	1		1	1			時間割編成上の都合により、配当時期を変更(27) 担当教員の退職と専任教員の採用により、教員及び配当年度を変更(26)
	Word Excel基礎	1前 1後 2後 2前	1			1			担当教員の退職と専任教員の採用により、教員及び配当時期を変更(26)
	POP広告クリエイター検定講座	1後 2後	1		1	1			授業の運営上の都合により、担当教員を変更(27) 担当教員の退職により、教員(新規採用者)及び配当年度を変更(26)
	デジタルコミック検定講座	1後	1						時間割編成上の都合により、配当年度を変更(26)
	MOS検定講座	1後	1			1			担当教員の退職と専任教員の採用により、教員を変更(26)
	国内旅行業務取扱管理者講座	1前	1			1			
	観光ビジネス論	2前 1前	2			1			時間割編成上の都合により、配当年度を変更(26)
	観光ネットワーク(国内)	1前	1			1			兼任 専任教員が必要資格を習得したため、担当教員を変更(26)
	観光と約款	1後	2		1				
	観光マーケティング	2後	2			1			
	国内旅行実務	1前	2			1			
	ホテル業界論	1後	2						兼任 講義内容の充実を図るため、担当教員(兼任)を変更(27)
	ホテル基礎管理	2前 2後	2						兼任 講義内容の充実を図るため、配当時期を変更(27)
	エアライン業界論	1後 2後	2			1			兼任 特任教員として委嘱したため、時間割編成上の都合により、配当年度を変更(26)
	キャビンアテンダント基礎	2前 1前	2			1			兼任 講義内容の充実を図るため、配当時期を変更(27) 特任教員として委嘱したため(26)
	観光英会話	1後 1後	1			1			時間割編成上の都合により、配当時期を変更(27)
	英語検定講座	1前 1後	1			1			時間割編成上の都合により、配当時期を変更(27)
	TOEIC検定講座	1後 1前	1			1			時間割編成上の都合により、配当時期を変更(27)
	ゼ ミ ナ ー ル	基礎ゼミナールⅠ	1前	1		2 3	4 2	5 2	
基礎ゼミナールⅡ		1後	1		2 4	4 3	5 3		
ゼミナールⅢ		2前	1		2 4	2 4	5 3		
ゼミナールⅣ		2後	1		2 4	2 4	5 3		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	変更なし
11	84	0	95	-	-	-	-	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
—	—	—	—	—	—	該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
—	—	—	—	—	—	該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 舎 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	名古屋産業大学と共用 キクタクススポーツヒルズ (総合スポーツ施設) [総面積] 土地79,480㎡、 建物延床面積3,977㎡ [交通手段] 最寄駅まで徒歩7分(0.5km) 電車:4分(2.5km)、 バス:7分(1.5km)、 施設まで徒歩3分(0.2km)		
	校舎敷地	0 ㎡	16,197 ㎡	0 ㎡	16,197 ㎡			
	運動場用地	1,728 ㎡	29,719 ㎡	0 ㎡	31,447 ㎡			
	小 計	1,728 ㎡	45,916 ㎡	0 ㎡	47,644 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	27,918 ㎡	3,640 ㎡	31,558 ㎡			
	合 計	1,728 ㎡	73,834 ㎡	3,640 ㎡	79,202 ㎡			
(2) 校 舎		専 用 3,388 ㎡ (3,388 ㎡)	共 用 18,551 ㎡ (18,551 ㎡)	共用する他の 学校等の専用 1,300 ㎡ (1,300 ㎡)	計 23,239 ㎡ (23,239 ㎡)	名古屋産業大学と共用		
(3) 教 室 等		講 義 室 37 室	演 習 室 8室	実験実習室 9 室	情報処理学習施設 8 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 2 室 (補助職員 0人)	大学・短大全体	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 未来キャリア学科		室 数 10 9	室	平成26年4月、 特任教員を採用(委嘱)し たため(26)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学・短大全体での 共用分 [図書] 69,691冊 [9,680冊] 71,634冊 [-9,673冊] 71,695冊 [9,656冊] [学術雑誌] 121種 [7種] +66種 [6種] +67種 [6種] [電子ジャーナル] 1種 [0種] [視聴覚資料] 2,184点 [2,184点] 2,339点 [2,339点] 2,233点 [2,233点] 大学・短大全体として図書 の除却・購入等による 増減(27) 大学・短大全体として図書 の除却・購入等による 増減(26)
		35,029 [5,221] 38,369 [5,221] 42,474 [5,344] (35,029 [5,221]) (4 [0]) (38,369 [5,221]) (17 [4]) (42,474 [5,344]) (39 [1]) (0 [0])	4 [0] 17 [4] 39 [1] (4 [0]) (17 [4]) (39 [1]) (0 [0])	0 [0] 0 [0] 0 [0]	1,131 1,348 1,417 1,131 1,348 1,417	0 0 0	0 0 0	
	未来キャリア 学科	35,029 [5,221] 38,369 [5,221] 42,474 [5,344] (35,029 [5,221]) (4 [0]) (38,369 [5,221]) (17 [4]) (42,474 [5,344]) (39 [1]) (0 [0])	4 [0] 17 [4] 39 [1] (4 [0]) (17 [4]) (39 [1]) (0 [0])	0 [0] 0 [0] 0 [0]	1,131 1,348 1,417 1,131 1,348 1,417	0 0 0	0 0 0	
		35,029 [5,221] 38,369 [5,221] 42,474 [5,344] (35,029 [5,221]) (4 [0]) (38,369 [5,221]) (17 [4]) (42,474 [5,344]) (39 [1]) (0 [0])	4 [0] 17 [4] 39 [1] (4 [0]) (17 [4]) (39 [1]) (0 [0])	0 [0] 0 [0] 0 [0]	1,131 1,348 1,417 1,131 1,348 1,417	0 0 0	0 0 0	
		35,029 [5,221] 38,369 [5,221] 42,474 [5,344] (35,029 [5,221]) (4 [0]) (38,369 [5,221]) (17 [4]) (42,474 [5,344]) (39 [1]) (0 [0])	4 [0] 17 [4] 39 [1] (4 [0]) (17 [4]) (39 [1]) (0 [0])	0 [0] 0 [0] 0 [0]	1,131 1,348 1,417 1,131 1,348 1,417	0 0 0	0 0 0	
		35,029 [5,221] 38,369 [5,221] 42,474 [5,344] (35,029 [5,221]) (4 [0]) (38,369 [5,221]) (17 [4]) (42,474 [5,344]) (39 [1]) (0 [0])	4 [0] 17 [4] 39 [1] (4 [0]) (17 [4]) (39 [1]) (0 [0])	0 [0] 0 [0] 0 [0]	1,131 1,348 1,417 1,131 1,348 1,417	0 0 0	0 0 0	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学・短大全体 配置換えによる座席数減 (27)		
	768 ㎡	129 130		79,528				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学・短大全体		
	5,782.38 ㎡	野球場・サッカー場、テニスコート6面、バレーコート2面、多目的ホール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	— 千円	820千円	820千円
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	— 千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,280千円	960千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		自己資金					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋産業大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
環境マネジメント研究科									
博士前期課程	2	10	-	20	修士 (環境マネジメント)	1.12	平成16年度	愛知県尾張旭市新居町山の田3255番地5	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (環境マネジメント)	0.16	平成19年度	同上	
環境情報ビジネス学部									
環境情報ビジネス学科	4	190	3年次20	830	学士 (環境情報ビジネス)	0.63	平成12年度	同上	平成25年度より入学定員を220名から190名に変更
大学の名称	名古屋経営短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
子ども学科	3	80	-	220	短期大学士 (子ども学)	0.62	平成19年度	愛知県尾張旭市新居町山の田3255番地5	
総合ビジネス学科	2	-	-	-	短期大学士 (総合ビジネス)	-	平成19年度	同上	
健康福祉学科	2	60	-	120	短期大学士 (健康福祉学)	0.58	平成20年度	同上	平成26年度より入学定員を60名から80名に変更 平成26年度より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<未来キャリア学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授 (学部長)	山本 芳功 (53歳)	平成26年4月	経済学入門	専	講師	高濱 優子 (39歳)	平成26年4月	経済学入門	平成26年4月 新規採用 担当者の変更 (26)	
				日本の経済と世界の経済 企業と会計 簿記入門Ⅰ 簿記入門Ⅱ	兼任	講師	加藤 由美子 (58歳)	平成26年4月	簿記入門Ⅰ 簿記入門Ⅱ	担当者の変更 (26)	
				営業検定講座 観光と約款	兼任	講師	石田 敬二 (48歳)	平成27年4月	営業検定講座	講義内容の充実を図るため、 担当者の変更 (27)	
				ライフプランニング (南武基礎)	専	講師 (学長)	高木 弘恵 (40歳)	平成26年4月	ライフプランニング (南武基礎)	担当者の変更 (26) ※ライフプランニング(菊武 基礎)はオムニバス	
				基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ							
専	教授	山下 真弓 (56歳)	平成26年4月	ビジネス文書	専	教授	西川三恵子 (54歳)	平成26年4月	ビジネス文書	平成26年3月 山下真弓教授 辞任 担当者の変更 (26)	
				プレゼンテーション技法 プレゼンテーション演習 ライフプランニング (南武基礎)	専	講師	武田 直之 (34歳)	平成27年4月	ビジネス文書	授業の運営上の都合により、 担当者の変更 (27)	
				基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	講師	高濱 優子 (39歳)	平成26年4月	プレゼンテーション技法 プレゼンテーション演習 ライフプランニング (南武基礎)	平成26年3月 山下真弓教授辞任 担当者の変更 (26)	
専	教授	西川 三恵子 (54歳)	平成26年4月	ビジネスマナー基礎Ⅰ	専	特任講師	児玉 美由紀 (44歳)	平成26年4月	ビジネスマナー基礎Ⅰ	平成26年4月 新規採用 担当者の変更 (26)	
				キャリアアップⅠ キャリアアップⅡ 秘書検定講座Ⅰ 秘書検定講座Ⅱ おもてなし演習 ライフプランニング (南武基礎)							
				基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ							
専	教授	伊藤 重男 (54歳)	平成26年4月	暮らしと経済	兼任	教授	伊藤 重男 (54歳)	平成26年4月	暮らしと経済	※当該授業科目のみ担当	
				マネジメント概論	兼任	教授	伊藤 重男 (54歳)	平成26年4月	マネジメント概論	※当該授業科目のみ担当	
				マーケティング論	専	講師	高濱 優子 (40歳)	平成27年4月	マーケティング論	講義内容の充実を図るため、 担当者の変更 (27)	
				実践キャリア教育Ⅰ 実践キャリア教育Ⅱ 実践キャリア教育Ⅲ	専	講師	高濱 優子 (39歳)	平成26年4月	実践キャリア教育Ⅰ 実践キャリア教育Ⅱ 実践キャリア教育Ⅲ	平成26年3月 伊藤重男教授辞任 担当者の変更 (26)	
				インターンシップⅠ	専	教授	山本 芳功 (53歳)	平成26年4月	インターンシップⅠ	平成26年3月 伊藤重男教授 辞任 担当者の変更 (26)	
					専	講師	島宗 俊郎 (72歳)	平成27年4月	インターンシップⅠ	担当者の追加 (27) ※2名(山本・島宗)担当	
				インターンシップⅡ	専	教授	山本 芳功 (53歳)	平成26年4月	インターンシップⅡ	平成26年3月 伊藤重男教授 辞任 担当者の変更 (26)	
					専	講師	島宗 俊郎 (72歳)	平成27年4月	インターンシップⅡ	担当者の追加 (27) ※2名(山本・島宗)担当	
				販売士検定講座	兼任	講師	加納 和弘 (63歳)	平成26年4月	販売士検定講座	平成26年3月 伊藤重男教授 辞任 担当者の変更 (26)	
					専	教授	西川 三恵子 (55歳)	平成27年4月	販売士検定講座	講義内容の充実を図るため、 担当者の変更 (27)	
				POP広告 クリエイター 検定講座	専	講師	武田 直之 (33歳)	平成26年4月	POP広告クリエイター 検定講座	平成26年3月 伊藤重男教授 辞任 担当者の変更 (26)	
	専	講師	西浜 クリス (46歳)	平成27年4月	POP広告クリエイター 検定講座	授業の運営上の都合により、 担当者の変更 (27)					
基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	講師	島宗 俊郎 (71歳)	平成26年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	平成26年3月 伊藤重男教授辞任 担当者の変更 (26)					

専	准教授	渡部 琢也 (41歳)	平成26年4月	生涯スポーツ パーソナルトレーナー資格講座 健康と運動の科学 人体の構造と機能及び疾病	専 講師	早川 健太郎 (39歳)	平成26年4月	生涯スポーツ パーソナルトレーナー資格講座 健康と運動の科学 人体の構造と機能及び疾病	平成26年3月 渡部琢也准教授辞任 担当者の変更 (26)
				情報処理	兼任 講師	太田 雅人 (49歳)	平成26年4月	情報処理	
				デジタル映像制作入門 SNS ネットコミュニケーション演習	専 講師	早川 健太郎 (40歳)	平成27年4月	情報処理	講義内容の充実を図るため、担当者の変更 (27)
				ライフプランニング (専攻基礎) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専 講師	早川 健太郎 (39歳)	平成26年4月	デジタル映像制作入門 SNS ネットコミュニケーション演習 ライフプランニング (専攻基礎) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	平成26年3月 渡部琢也准教授辞任 担当者の変更 (26)
専	講師	近藤 城史 (37歳)	平成26年4月	ロジカルシンキング	専 講師	高濱 優子 (39歳)	平成26年4月	ロジカルシンキング	平成26年3月 近藤城史講師辞任 担当者の変更 (26)
				企業と情報 ビジネス情報	兼任 講師	石田 敬二 (48歳)	平成27年4月	ロジカルシンキング	講義内容の充実を図るため、担当者の変更 (27)
				情報倫理	専 講師	武田 直之 (33歳)	平成26年4月	企業と情報 ビジネス情報	平成26年3月 近藤城史講師辞任 担当者の変更 (26)
				情報科学入門 表計算演習 プログラミング演習 データベース演習 Word Excel基礎 MOS検定講座 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	兼任 准教授	星野 雪子 (52歳)	平成26年4月	情報倫理	
専	講師	黒木 由美 (50歳)	平成26年4月	医療事務Ⅰ 医療事務Ⅱ 医療事務Ⅲ 医療秘書 医療事務演習Ⅰ 医療事務演習Ⅱ 医事コンピュータ演習 調剤事務 電子カルテ演習 メディカル総合演習	専 講師	塚本 佳子 (50歳)	平成26年4月	医療事務Ⅰ 医療事務Ⅱ 医療事務Ⅲ 医療秘書 医療事務演習Ⅰ 医療事務演習Ⅱ 医事コンピュータ演習 調剤事務 電子カルテ演習 メディカル総合演習 医療教養	平成26年3月 黒木由美講師辞任 平成26年4月 新規採用 担当者の変更 (26)
				医療教養	専 教授	西川 三恵子 (55歳)	平成27年4月	医療教養	授業の運営上の都合により、担当者の変更 (27)
				基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専 講師	塚本 佳子 (50歳)	平成26年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	平成26年3月 黒木由美講師辞任 平成26年4月 新規採用 担当者の変更 (26)
				ビジネスイングリッシュ 観光英会話 英語検定講座 TOEIC検定講座 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ					
専	講師	西浜 クリス (45歳)	平成26年4月						
専	講師	島宗 俊郎 (71歳)	平成26年4月	海外研修 国内旅行業務取扱管理者講座 観光ビジネス論 観光マーケティング 国内旅行実務					
兼任	教授	高木 清秀 (67歳)	平成26年4月	労働と法 政治と経済	専 教授	高木 清秀 (68歳)	平成26年4月	労働と法 政治と経済	平成26年4月 当該学科に所属変更 (26)
兼任	講師	児玉 美由紀 (44歳)	平成26年4月	エアライン業界論 キャビンアテンダント基礎	専 特任講師	児玉 美由紀 (44歳)	平成26年4月	エアライン業界論 キャビンアテンダント基礎	平成26年4月 新規採用 (26)
兼任	講師	藤田 委子 (34歳)	平成26年4月	高齢者福祉論 介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※	兼任 講師	藤田 委子 (34歳)	平成26年4月	高齢者福祉論 介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※ ライフプランニング (専攻基礎)	※介護職員初任者研修講座 Ⅰ・Ⅱはオムニバス 講義内容の充実を図るため、担当者追加 (27)
兼任	教授	中尾 治子 (58歳)	平成26年4月	介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※	兼任 講師	川角(村瀬)真弓 (38歳)	平成27年4月	介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※	平成26年3月 中尾治子兼任教員辞任 (26) 平成27年度開講。
兼任	准教授	上田 智子 (53歳)	平成26年4月	介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※	兼任 教授	上田 智子 (53歳)	平成26年4月	介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※	平成26年4月 教授に昇格 (26)
兼任	准教授	三好 禎之 (44歳)	平成26年4月	介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※					
兼任	講師	井川 淳史 (43歳)	平成26年4月	介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※	兼任 准教授	井川 淳史 (44歳)	平成27年4月	介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※	平成27年4月1日付け昇格 による職位変更 (27)
兼任	講師	川角(村瀬)真弓 (38歳)	平成26年4月	介護職員初任者研修講座Ⅰ ※ 介護職員初任者研修講座Ⅱ ※					
兼任	教授	陳 惠貞 (52歳)	平成26年4月	心理学総論					

兼任	講師	神田 卓朗 (71歳)	平成26年4月	日本語表現	専 教授	西川 三恵子 (55歳)	平成27年4月	日本語表現	講義内容の充実を図るため、担当者の変更 (27)	
兼任	講師	松岡 圭子 (59歳)	平成26年4月	人間関係とコミュニケーション	兼任	教授	岡崎 強 (70歳)	平成26年4月	人間関係とコミュニケーション	平成26年3月 松岡圭子兼任教員辞任 担当者の変更 (26)
兼任	講師	稲葉(杉山)寿美 (48歳)	平成26年4月	ビジネスマナー基礎Ⅱ 話し方演習	専	特任講師	児玉 美由紀 (44歳)	平成26年4月	ビジネスマナー基礎Ⅱ	平成26年4月 新規採用 担当者の変更 (26)
					兼任	講師	稲葉(杉山)寿美 (48歳)	平成26年4月	話し方演習	
兼任	講師	田辺 茂樹 (40歳)	平成26年4月	簿記検定講座Ⅰ 簿記検定講座Ⅱ	兼任	講師	加藤 由美子 (58歳)	平成26年4月	簿記検定講座Ⅰ 簿記検定講座Ⅱ	担当者の変更 (26)
兼任	講師	生川 美江 (55歳)	平成26年4月	栄養学演習	兼任	講師	岡田 恵利 (50歳)	平成26年4月	栄養学演習	担当者の変更 (26)
兼任	講師	福井(加藤)美加子 (46歳)	平成26年4月	ファッションコーディネート						
兼任	講師	三浦 睦子 (58歳)	平成26年4月	カラーコーディネート検定講座Ⅰ カラーコーディネート検定講座Ⅱ						
兼任	講師	小川 詩織 (33歳)	平成26年4月	ネイル・エステティック & フライダル ※	兼任	講師	近藤(成瀬)諭美 (35歳)	平成26年4月	ネイル・エステティック & フライダル	担当者の変更 (26)
兼任	講師	市来 有希 (47歳)	平成26年4月	ネイル・エステティック & フライダル ※						※設置時の計画はオムニバス
兼任	講師	正木 淑子 (44歳)	平成26年4月	ネイル・エステティック & フライダル ※						
兼任	講師	原(山田)志保 (45歳)	平成26年4月	アロマセラピー ウォーキング・ポーズ&ダンス 美容法						
兼任	講師	神谷 海帆 (40歳)	平成26年4月	ダイエット検定講座	専 教授	西川 三恵子 (55歳)	平成27年4月	ダイエット検定講座	講義内容の充実を図るため、担当者の変更 (27)	
兼任	講師	天野 寛 (57歳)	平成26年4月	デジタルコミック検定講座						
兼任	講師	難波 功 (65歳)	平成26年4月	観光ネットワーク (国内)	専 講師	島宗 俊郎 (71歳)	平成26年4月	観光ネットワーク (国内)	担当者の変更 (26)	
兼任	講師	山本 清 (61歳)	平成26年4月	ホテル業界論 ホテル基礎管理	兼任	講師	森 景光 (65歳)	平成27年4月	ホテル業界論 ホテル基礎管理	講義内容の充実を図るため、担当者の変更 (27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	1	4	0	9	3	0	8	0	11	65	2	65	2
(4)	(1)	(4)	(0)	(9)	[Δ1]	[Δ1]	[4]	[0]	[2]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
—	—	—	該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (27年2月)	<p>未来キャリア学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>未来キャリア学科の平成26、27年度平均入学定員超過率は0.40倍であり、平成26年度設置時から学生確保に向けた取組（高校訪問、オープンキャンパス、高校内進路ガイダンス、業者主催進学ガイダンス、Webページの情報提供等の募集活動）を実施しているが、平成27年度入試においても、入学者が44人と適切な入学者の確保にはつながらなかった。</p>	<p>平成28年度は、①高校訪問、入学実績校を中心に重点校の見直し・強化、②入試広報室員と学科教員との連携体制の充実、③オープンキャンパスの内容や回数、フィールド別の特性を活かした効果的な体験講義の見直し・実践、④高校内進路ガイダンスへの積極的な参加促進、⑤姉妹校、高大連携の強化を重点項目に置き、さらに未来キャリア学科の持つ幅広い領域を活かした実践型キャリア教育について広く周知を図っていく。また、進路指導の先生との情報交換やWebページによる情報発信を充実させ、高校生とその保護者に対し、未来キャリア学科の分野・フィールド紹介、オープンキャンパスやイベント等の最新情報を積極的に提供していく。</p> <p>入試に関しては、入学後の教育との関連を十分に踏まえた選抜を実施するとともに、特にAO入学希望者に対しては面談等を通じて、入試情報をきめ細かく提供していく。今後も入学定員を確保するため、学生募集活動に傾注していく。</p>
	<p>未来キャリア学科において、定員規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>未来キャリア学科は、医療事務、健康スポーツ、美容・癒し、ビジネス情報、観光・英語の5つのフィールドの中から、幅広い専門知識とスキルを身につけるための科目を体系的に学ぶことができるように、各領域に合わせて実社会での経験豊富な教員をバランスよく配置している。在籍する教員の中には、旅行業界での経験豊富な教員（72歳・講師）と短大教員を兼務する本学園常務理事（69歳・教授）を配置しているため、65歳以上の専任教員が顕在化している現状である。</p>	<p>平成28年度は、通常の定年退職年齢を超える教員1名が、完成年度を迎えるまでの雇用となっていることを踏まえ、若手の教育・研究者として講師または准教授を任用し、教育研究活動の活性化、特色ある教育研究の展開及び若手研究者の育成を図っていききたい。</p> <p>教育活動の質の維持、学科運営の継続性を踏まえ、専任教員の構成が特定の年齢に著しく偏ることのないよう、定年退職年齢を超える専任教員数の割合を低減し、専任教員をバランスよく配置する組織編制の改善について検討を図っていく。</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (27年2月)</p>	<p>既設学部等（健康福祉学科、名古屋産業大学環境情報ビジネス学部環境情報ビジネス学科）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>健康福祉学科は、介護福祉人材の育成において、その必要性は年々高まっているものの、介護職に対する社会的評価や引き付ける魅力の低下などから、若い世代からの志望は少なくなっている。介護福祉士養成校の定員充足率は、平成27年度58.3%、平成26年度55%と厳しい現状にある。</p>	<p>平成28年度は、教職員による高校訪問、高校からの体験授業の依頼に積極的に対応する、ITによる広報、講座・研修などの地域貢献活動等を引き続き展開していく。卒業生が安定した就業状況であることを広め、対象となる高校生が情報を収集しやすいよう定期的に情報を更新し、本学ホームページやSNS等を利用した多様な情報を発信していく。</p> <p>高校訪問については重点校を選定し、広報媒体となるパンフレットの他、健康福祉学科の特徴を把握しやすいビラを持参する等、進路指導者への介護イメージを変えられるよう精力的に展開していく。また、オープンキャンパスでは内容を充実させ、各回の参加者数を多くすることで参加者のイメージアップも図るとともに、従来通り参加者への丁寧な対応をし、進学後の学修・学生生活のイメージしやすいようにし、本学科進学への意向を高めていきたい。</p> <p>名古屋産業大学の平成26、27年度平均入学定員超過率は0.63倍であり、0.70倍未満となっているのが現状である。</p> <p>名古屋産業大学では、平成25年度において損益分岐点も考慮しつつ、入学定員を220人から190人に見直すとともに、建学の精神を徹底する観点から、実践教育重視のカリキュラムを導入し、教育の特色づくりに取り組んできた。平成26年度には、大学運営の指針となる中期計画の改定を前倒しし、入学定員の確保に向けて、姉妹校連携や高大連携(19校と連携)の強化やスポーツビジネスコースの開設準備等に着手した。</p> <p>また、平成22年度の入学者に占める留学生の割合が45%近くに達したことから、留学生に過度に依存した募集状況を改善すると同時に、邦人入学者の増加を促進するため、留学生に対する奨学金制度の見直し等を行った。平成27年度の入学者に対する留学生比率は1.7%まで減少したが、留学生の減少を補える状況には至っていないのが現状である。</p> <p>平成26年12月に文部科学省に届け出た新カリキュラム（スポーツビジネスコースの開設）が平成27年度よりスタートし、平成28年度は入学者の増加を見込んでいる。今後は環境、情報、ビジネスを複合的に学ぶことができる全国唯一の特色あるカリキュラムや、長期インターンシップを中心とした体系的な実践教育プログラム、さらには新たに開設するスポーツビジネスコースの幅広い周知等、本学教育の特色を高校生やその保護者に対して重点的に訴求し、入学定員の確保を目指した学生募集活動に取り組んでいく。</p> <p>なお、入学定員の見直しについては、平成28年度の学生募集動向を踏まえ検討する予定である。</p>
-------------------------------------	---	-------------	---	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<未来キャリア学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書 42,474冊（うち外国書5,344冊） ・学術雑誌 39冊（うち外国書1冊） ・視聴覚資料 1,417点 	<p>図書館の蔵書については、引き続き、平成26年度末にも図書資料の提供、配架の有効化を図るために、重複図書の整理、不要図書や学術雑誌の処分等を行いました。</p> <p>今後も、本学の教育活動に資する図書館蔵書の構築を進めるとともに、さらに学生の修学環境の整備・充実に向けた取組をより一層推進していきます。学生の要望に応じた基本資料、専門分野に関する図書、授業の内容（シラバス）に記載されている参考書、新刊図書の選定に努めます。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成5年4月に設置された自己点検・評価委員会を発展させ、短期大学全体の教育研究水準の向上を図るため、教員の資質能力の向上、教育内容及び方法の改善に積極的に取り組んでいます。 ・自己点検・評価委員会は、学長、学科長、事務局長及び学長の委嘱する委員（若干名、平成27年度は4名）によって構成されています。*名古屋経営短期大学自己点検・評価委員会規程…別紙 ・FD組織は、自己点検・評価委員会内に設けています。学長及び学科長の管理体制のもと、組織的に問題改善活動を行っています。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価委員会は、半期に1回程度開催しています。 その他、委員会の諮問に応じて、委員長が適宜招集して小委員会で議論を行っています。 ・本年度は、平成29年度の相互評価に向けて報告書の作成スケジュール、平成27年度の学生による授業評価アンケートの実施について審議されます。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>自己点検・評価委員会は、以下の項目について審議を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検及び評価の項目に関すること ・自己点検及び評価の実施に関すること ・自己点検及び評価のまとめとその公表に関すること ・その他、自己点検及び評価に関し必要と思われること <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業評価アンケート ・問題改善活動 <p>b 実施方法</p> <p>授業評価アンケートについては、年に2回（前期・後期の学期末）、全学生を対象に実施しています。調査の質問項目は、学生自らの授業への取り組み姿勢、教員の話し方、授業の進め方、配布資料・教材の内容、授業の成果等の内容になっています。</p>
--

問題改善活動においては、授業担当者、授業運営上あるいは学生に関する問題が発生した場合には、すみやかに関連委員及び関連部署との連携を図り、発生要因を十分に把握した上で、管理責任者である学長及び学科長と協議し、問題解決に努める体制を整えています。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

授業評価アンケートについては、授業担当者（専任・兼任教員）が当該授業が終了した後に、アンケート用紙（マークシート方式）を配付し、その時間内に受講学生から回収しています。

上記の取り組みの他、FDへの認識度を高めるため、本学非常勤講師との打ち合わせ会を平成27年3月23日・25日に開催し、授業改善の推進、学生指導での問題点等について、情報提供及び意見交換を行いました。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケートの結果を参考にして、授業をより効果的に行うために、学生の要望に沿った授業の形態へ継続的に改善するよう取り組んでいます。授業評価アンケートの結果をカリキュラム改善やFD実施の資料となるようにするとともに、教員自らが教育的な成果を確認し、さまざまな視点から問題意識を持つことを目標に掲げて、授業改善の成果を受講学生に還元できる手段として、制度的に教員の資質の維持向上を促進する方策を採っていきたいと考えています。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業数が10回を超えた段階で、学生による授業評価アンケートを実施しています。

b 教員や学生への公開状況、方法等

当該授業が終了する前に、授業担当者が受講学生に対して、当該授業時間に授業評価アンケート結果の概要を公開し報告しています。授業評価アンケートの結果については、全体集計（単純集計、相関分析、クロス集計）と分析をまとめた資料冊子を作成し、授業改善等を検討する際のツールとして活用しています。いつでも自由に閲覧できるように、学生サポートセンター、図書館、非常勤講師控室に常設しています。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨・目的

未来キャリア学科は、未来の社会を担い、未知の時代を切り拓く力を持った学生の育成や、将来に亘っての学術研究の推進を通して、未来を形づくり、社会をリードする役割を担うことが重要であると考え、平成26年4月に設置されました。日本の成長分野である医療・福祉・健康、美容、観光、英語に関わる実践的かつ専門的な知識・技能の修得を図る教育活動を通して、学校から社会・職業への円滑な移行のために必要な社会人基礎力、コミュニケーション能力、課題発見・課題解決能力、基礎的・汎用的能力、論理的思考力、想像力等の能力を習得し、未来を担う豊かな人間性に富んだ自立型人材を育成することを目的として、学生一人ひとりのキャリア発達、キャリア形成を積極的に支援する教育を展開しています。

2. 教育課程の編成

未来キャリア学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目（95科目）を自ら開設し、学生一人ひとりが、自分の興味や将来就きたい職業に合わせて、好きな科目を自由に選択して履修することができるよう体系的に教育課程を編成しています。教育課程は幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、必要な専門分野の知識・技術を習得することができる授業科目からなり、ビジネス社会で必要とされる基本的な知識や能力、資格取得に必要な知識・スキルの習得を目的とする「総合教育科目」と医療、健康スポーツ、美容・癒し、情報、観光・英語の各領域から自分の興味や将来就きたい職業に合わせて、好きな科目を自由に選択して履修することができる「専門教育科目」に分けて編成されています。多様なニーズを持つ学生の学習実態を踏まえながら、よりバランス良く履修することができるように授業科目の履修体系を整備する等、適切な学習指導を行っています。

3. 履修指導

平成27年4月3日に学科のオリエンテーション、同年4月6日に履修ガイダンスを開催して、履修担当教員によるきめ細かな履修指導を実施しました。それ以後も、ゼミ担当教員による個別履修相談を実施し、継続的な履修指導を行っています。

学習効果を高めるために、1セメスター（1年次）に履修登録できる単位数の上限を18単位（必修科目と基礎ゼミナールを除く）と定め、2年間の学習計画に基づき、体系的かつ段階的な学習が可能となるように配慮するとともに、それぞれの領域に応じた履修モデルを提示することにより、履修指導の充実を図っています。

4. 学生の受け入れ

平成27年度入試では、入学定員100人に対し、47人の入学志願者、44人の入学者となり、入学定員超過率が0.44倍という大変厳しい結果でした。入試区別では、指定校推薦入試は昨年度を上回る状況でしたが、公募推薦入試は3人、一般入試は2人と昨年度同様に厳しい状況でした。

平成28年度の定員確保に向けて、オープンキャンパス、Webサイトによる教育研究活動に関する情報提供、高校訪問、出前講義、姉妹校連携及び高大連携事業等の充実・強化を図るとともに、本学科の個性（強み）と特色を積極的にPRできる広報体制を再構築し、教職員が一体となって努力を重ねています。

5. 総括評価・所見

未来キャリア学科は、現時点では届出時の基本計画書通りに実行されており、本学科の設置の趣旨・目的を達成するために日々努力しています。

今後は、教員の教育研究活動の充実、教育課程の構築に向けた取り組みを行っていきます。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成22年6月に公表済みです。

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、執筆者及び全部署に各1冊を配布しました。

・本学ホームページ上に公開しています。

③ 認証評価を受ける計画

・平成25年度に評価機関（一般財団法人短期大学基準協会）の大学機関別認証を受け、平成26年3月13日付けで「適格」と評価されました。

・その他、平成22年度及び平成23年度に高田短期大学（三重県津市）との相互評価を実施し、平成24年9月30日に相互評価報告書を刊行しました。本学ホームページ上に公開しています。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年6月15日)